



2025年7月期 第2四半期 決算補足説明資料

2025年3月12日

VALUENEX株式会社

東証グロース：証券コード4422

VALUENEX

項目

1

2025年7月期第2四半期業績報告

2

事業概要

2025年7月期 第2四半期決算まとめ

1

売上高、各段階利益において前年を下回りました。

- ・売上高 : 257百万円 (前年比 ▲18百万円、▲6.7%)
- ・営業利益 : ▲126百万円 (前年比 ▲43百万円)
- ・経常利益 : ▲126百万円 (前年比 ▲43百万円)
- ・最終利益 : ▲125百万円 (前年比 ▲43百万円)

2

コンサルティング売上が前年を下回り、ASP売上は前年を上回ったものの、売上高合計では前年を下回りました。

- ・コンサルティング売上 : 89百万円 (前年比 ▲23.4%)
- ・ASP売上 : 163百万円 (前年比 +3.5%)

3

コスト (売上原価+販管費) : 383百万円 (前年比 +6.8%)

- ・人材や研究開発の投資コスト、業務委託費の増加もあり前年を上回りました。

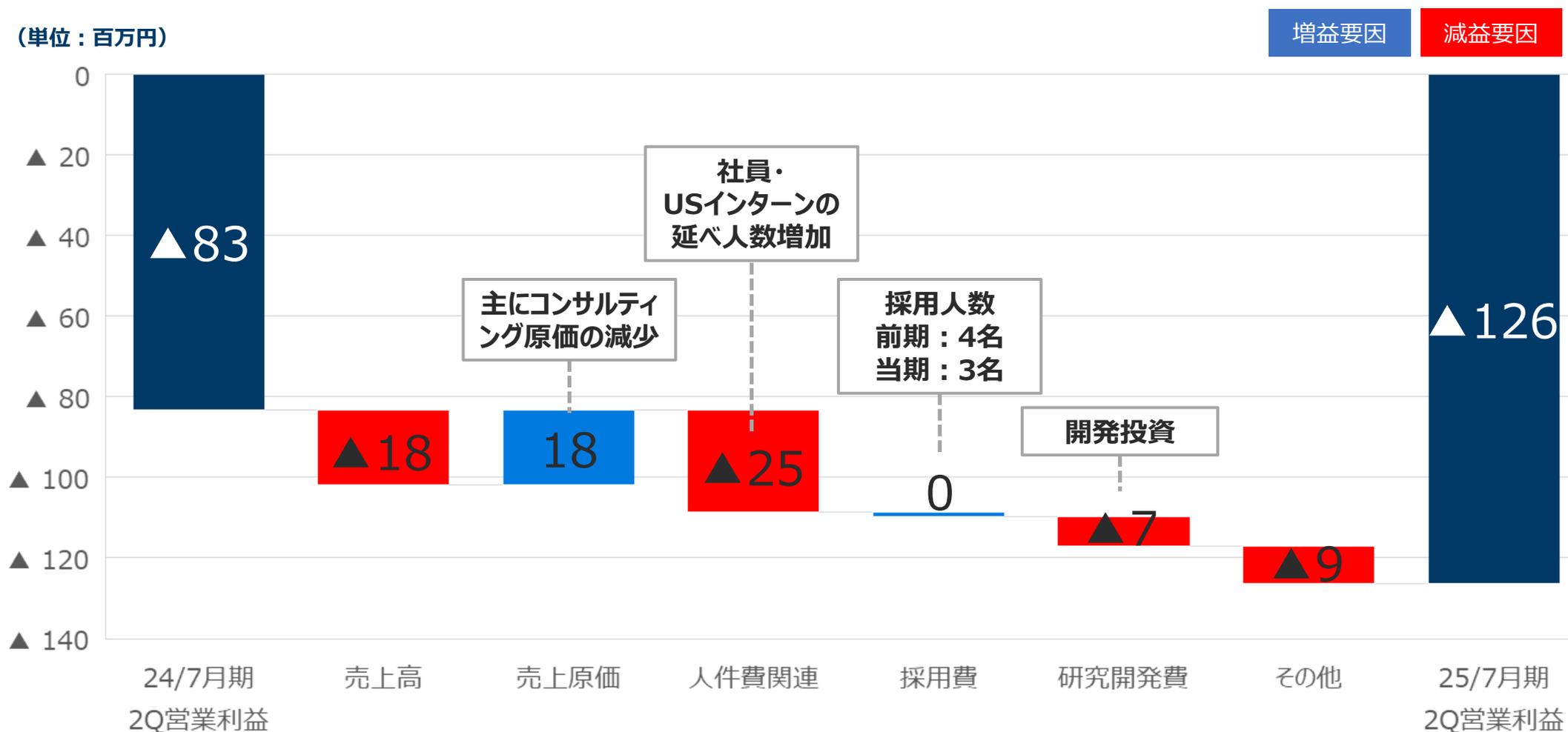
2025年7月期 第2四半期 連結業績概要

投資先行によるコスト増のため、各段階利益において減益いたしました。

(単位：百万円)	24/7月期 2Q実績	25/7月期 2Q実績	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	275	257	▲ 18	▲ 6.7%
売上総利益	198	198	0	▲ 0.0%
販管費	281	324	43	+15.3%
営業利益	▲ 83	▲ 126	▲ 43	-
経常利益	▲ 82	▲ 126	▲ 43	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 82	▲ 125	▲ 43	-

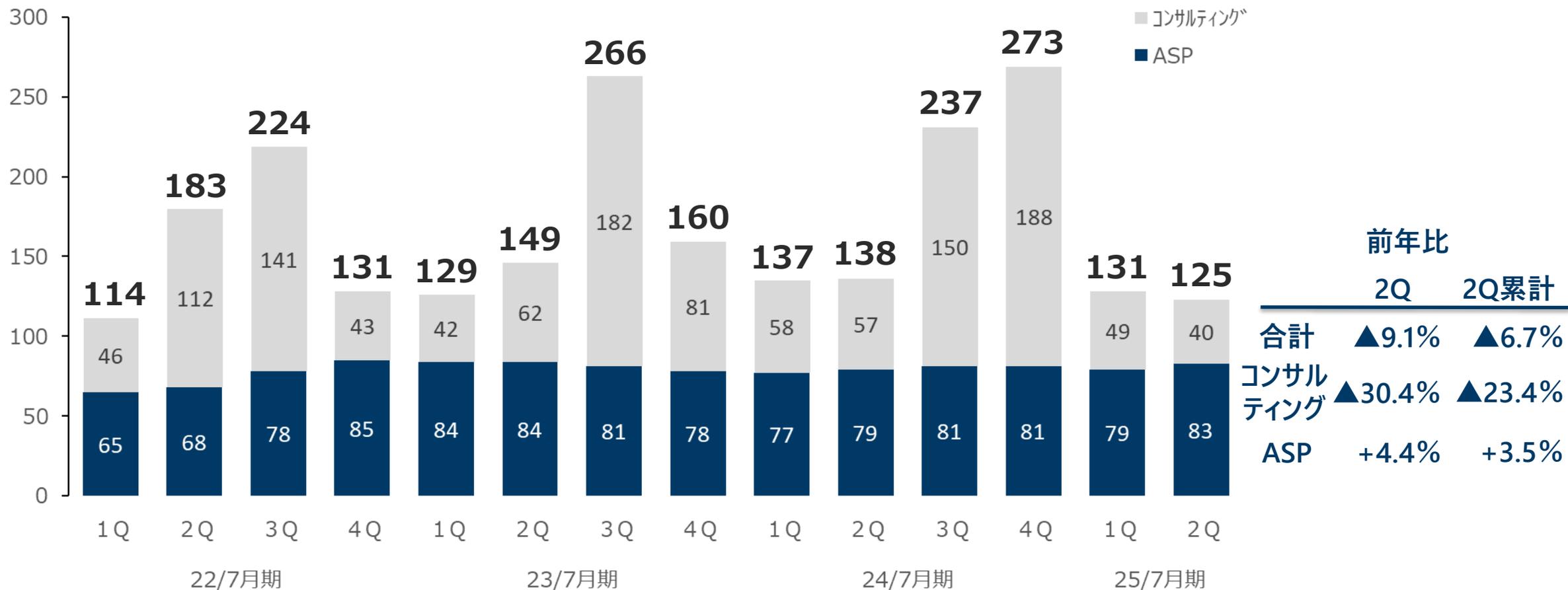
2025年7月期 2Q累計連結営業利益増減要因

売上減少・人件費、開発投資増加等の減益要因により減益いたしました。



連結売上高の推移（サービス別）

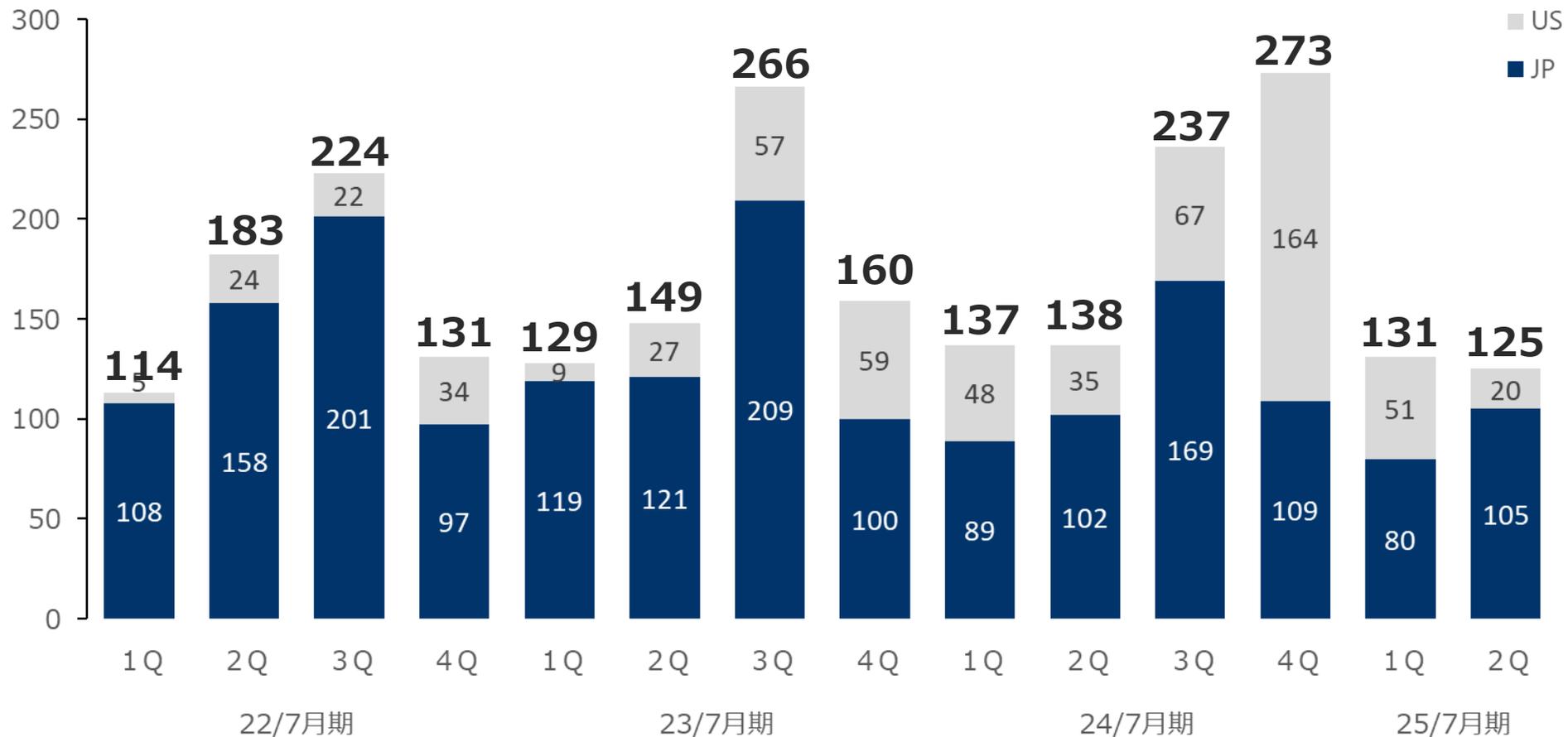
ASPは前年同期を上回ったものの、コンサルティング・売上合計で前年同期を下回りました。



※コンサルティングとASP売上以外に、データ販売やレポート販売等のその他売上もありますが、少額のため合計値にのみ合算しております。

連結売上高の推移（地域別）

JPは2Qで前年同期を上回ったものの、US・連結で前年同期を下回りました。



	前年比	
	2Q	2Q累計
連結	▲9.1%	▲6.7%
US	▲41.8%	▲14.4%
JP	+2.3%	▲3.4%

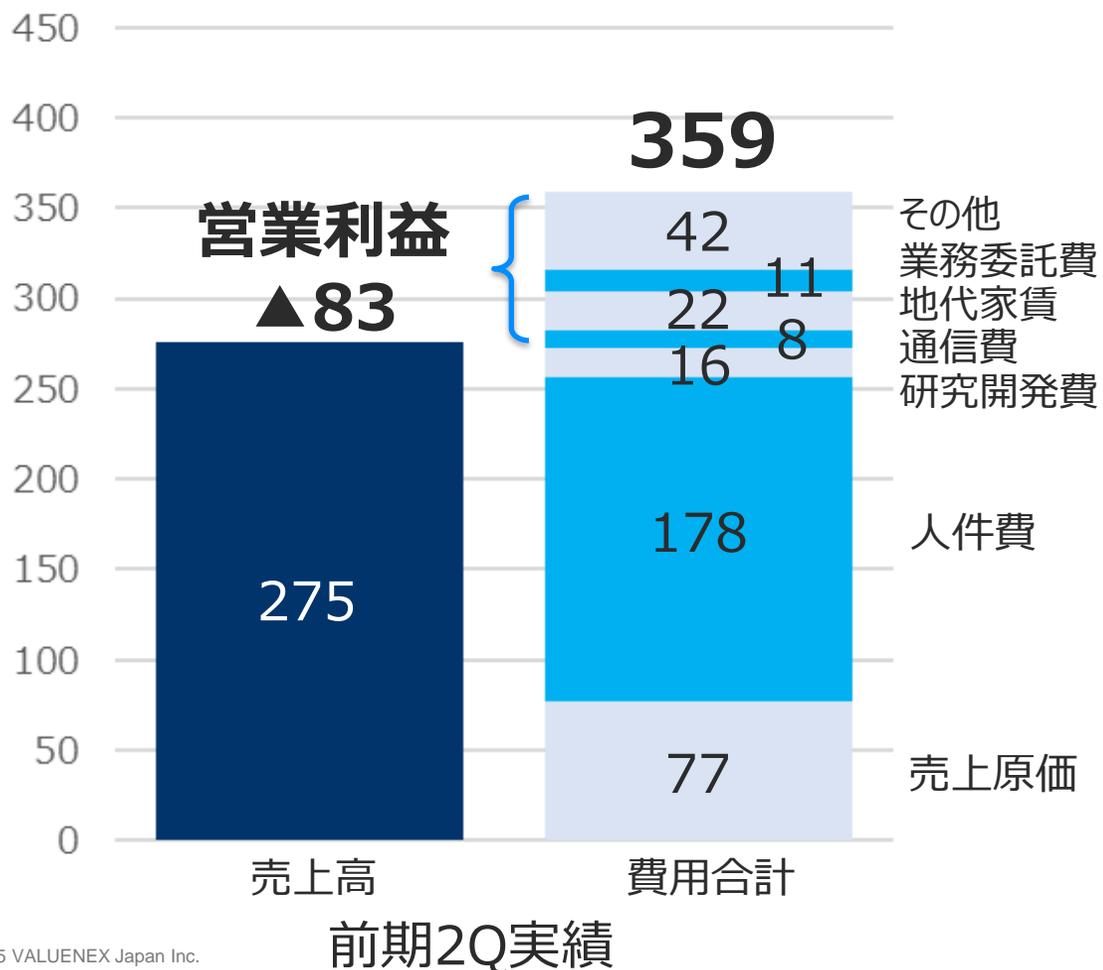
2025年7月期 第2四半期 連結営業費用の内訳

人件費の増加 : 社員・USインターンの延べ人数が増えたことによる増加です。

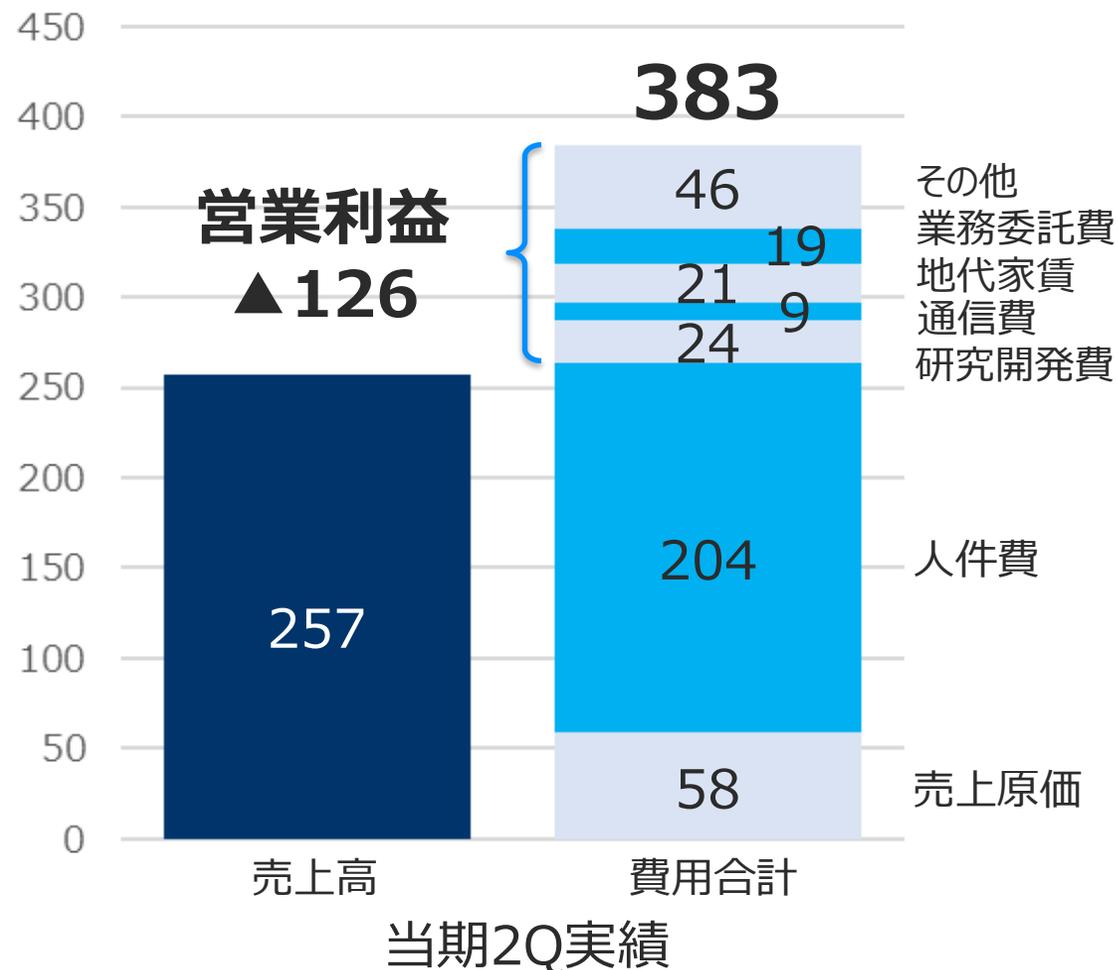
業務委託費の増加 : 主にUSの戦略支援委託、その他JPの営業支援委託による増加です。

研究開発費の増加 : 開発への投資による増加です。

(単位 : 百万円)



(単位 : 百万円)



VALUENEX, Inc. (米国) 第2四半期主な活動状況

営業活動

- 日系大手のシリコンバレーでのイノベーションラボ活動をサポートする大型契約を複数遂行中です。
- 日系大手のシリコンバレーでのイノベーション活動を支援する大型パッケージプランの契約に向け内容を調整中です。
- 世界で有名なワインの評論家とコラボレーションしたプロジェクトのサービスをリリースに向け準備中です。

マーケティング

- インサイト・カフェのMeetup & Happy hourを毎月違うテーマで様々な組織とコラボレーションしながら開催し、商談化に繋がっています。今期はシリコンバレーのJapan Innovation Campus（経済産業省が主催する、起業家やスタートアップ等が活用できる米国・シリコンバレーのビジネス拠点）において開催しています。
- 米国大使館で「人工知能（AI）と無形資産（IA）の活用に関するシンポジウム」を共催しました。
- 12月にシリコンバレーで開催された量子コンピュータのビジネスカンファレンスであるQ2B Silicon Valley 2024にスポンサーとして参加しました。

開発

- 生成AIを活用したArea Summarizerを追加開発し、VALUENEX Radarに実装しました。
- 新しい可視化のアルゴリズムを検討中です。

採用

- 1月にスタンフォード大学で開催されたキャリアフェアに参加し（日系企業では当社のみ）、100名以上の応募者が集まりました。
- 大型案件に係るインターンを募集しスタンフォード大学を中心に500名以上が集まりました。この中から数名のインターンを採用予定です。

第2四半期の取り組み・記事掲載

■ 米国大使館で「人工知能（AI）と無形資産（IA）の活用に関するシンポジウム」を共催しました

2024年11月13日（水）、VALUENEXは、JSNC (Japan Society of Northern California) およびMobity社と共に、在日米国大使館内で「人工知能（AI）と無形資産（IA）の活用のための新たな協業エコシステム」をテーマとしたラウンドテーブル・シンポジウムを開催しました。

このシンポジウムには、AIや無形資産の分野において最前線で活躍する約50名の大企業の役員、業界の専門家、そして日米の政府関係者を含む皆様が参加され活発な議論が交わされました。

<https://www.valuenex.com/jp/news-list/20241216/ai-ia-symposium>

第2四半期(11～1月) メディア掲載・セミナー登壇一覧

	内容	URL
メディア 掲載	2024年11月11日 三井化学株式会社様の統合報告書に弊社ツールで作成した俯瞰図が掲載	https://www.valuenex.com/jp/news-list/20241111-report-mitsuikagaku
	2024年11月14日 NTTグループ様のHPに弊社ツールで作成した俯瞰図が掲載	https://www.valuenex.com/jp/news-list/20241114-report-ntt
	2024年11月19日 日本経済新聞様の記事に当社の調査データが掲載	https://www.valuenex.com/jp/news-list/20241119-nikkei-ryoshi
	2024年11月21日 日経クロステック様の記事に当社の解析データが掲載	https://www.valuenex.com/jp/news-list/20241121-xtech-nikkei
	2024年12月10日 旭化成株式会社様の『知的財産報告書 2024』に弊社ツールを利用した俯瞰図が掲載	https://www.valuenex.com/jp/news-list/20241210-report-asahi-kasei

開発の状況

1. 開発現場で活用される品質表を自動生成するツール（Radar QFD）の開発
2. 生成AIを活用した要約機能(Area Summarizer)の追加開発
3. クライアントツール(VALUENEX Radarアプリ)の機能改良
4. その他(設計・開発中)

項目

1

2025年7月期第2四半期業績報告

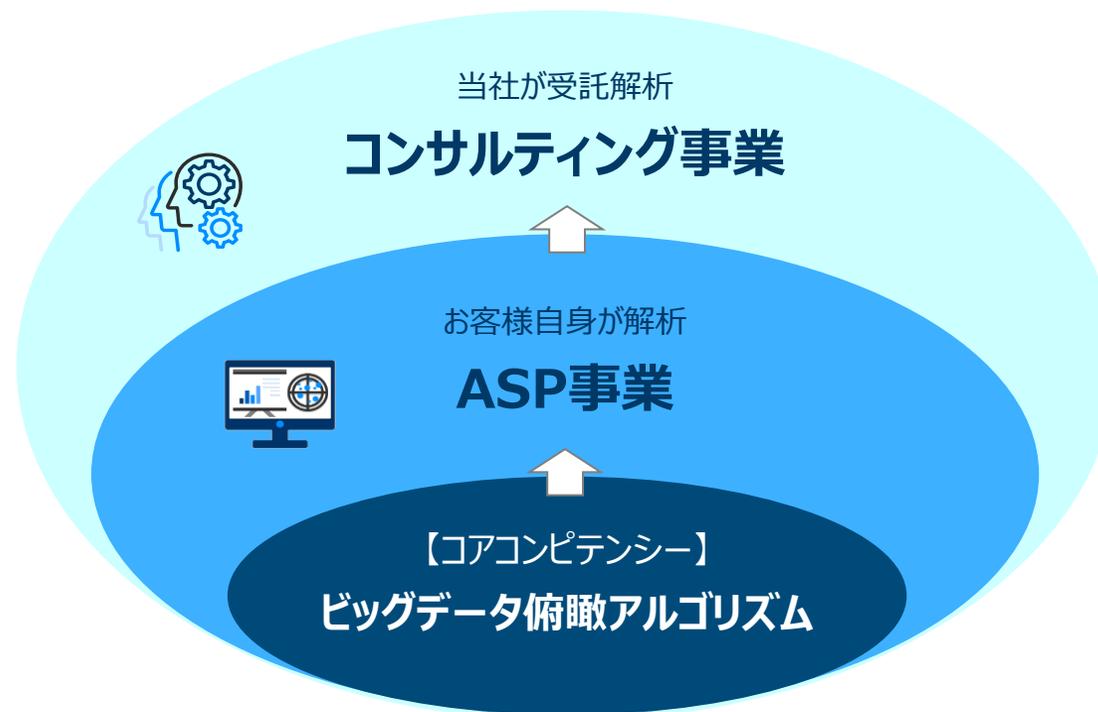
2

事業概要

当社のアルゴリズム事業

当社アルゴリズム事業は主に2つの販売形態から成り立っております。

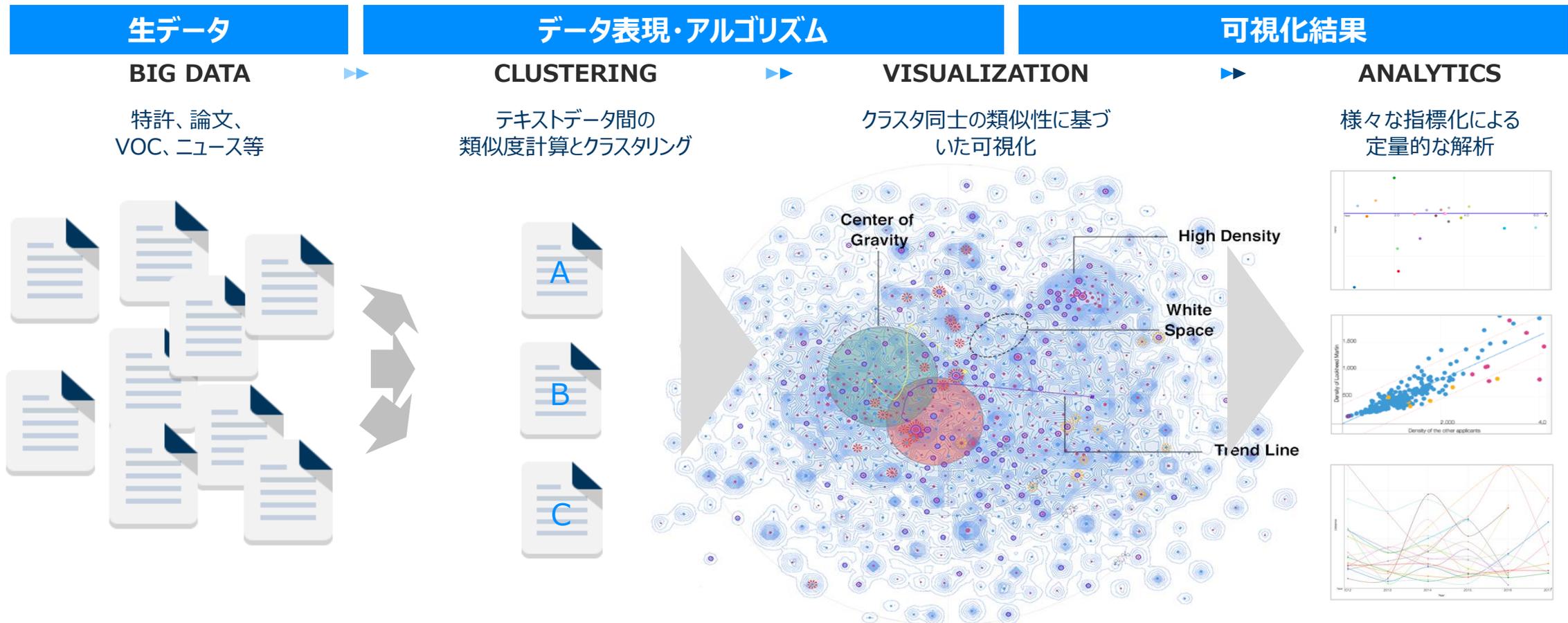
- ・ 俯瞰解析アルゴリズムを活用したコンサルティング事業
- ・ 当該アルゴリズムを根幹とするASP事業



※ ASP = Application Service Providerの略。インターネット等のネットワークを通じてアプリケーションソフトウェアを提供するサービス

VALUENEXツールの概要

大量のテキストデータ同士の類似性を可視化した俯瞰図により、テキストデータの全体像を把握する手法です。これにより、知的財産、研究開発、マーケティング等に資する知見の獲得が可能です。

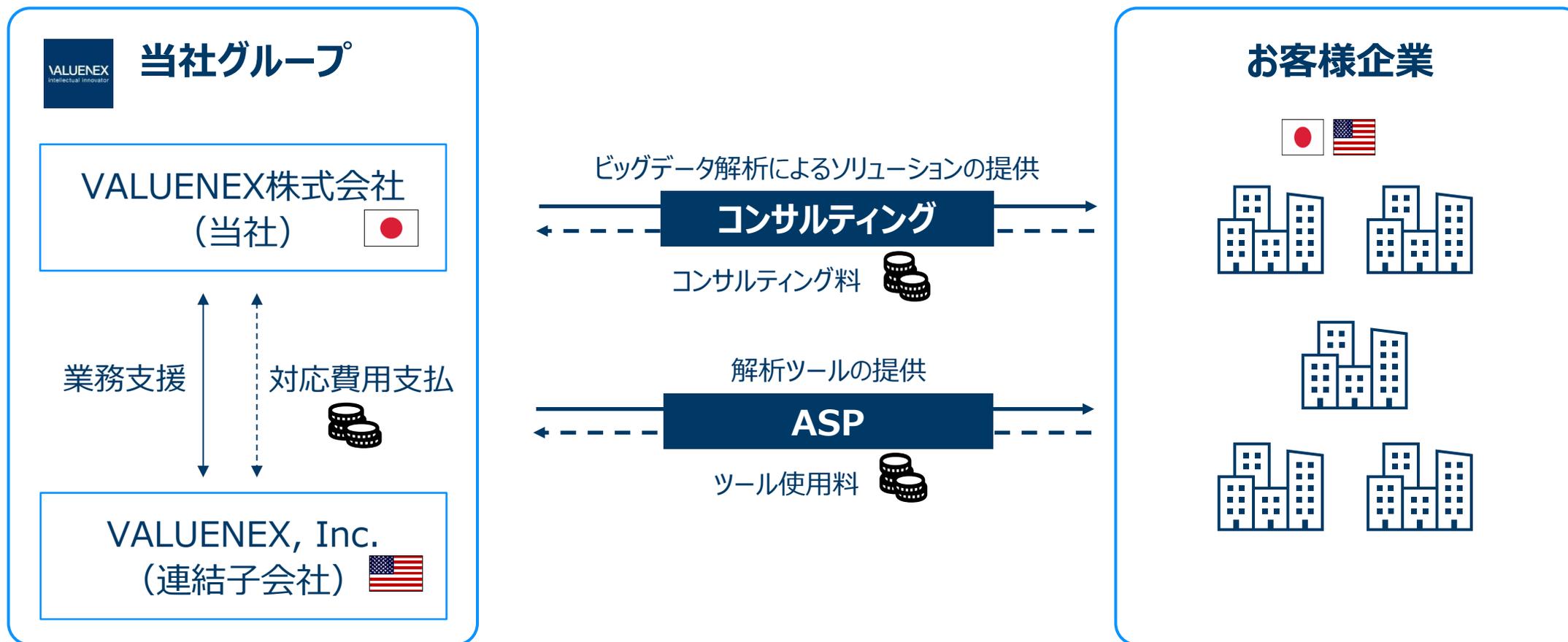


VALUENEX サービスアウトライン

サービス		概要	解析対象テキストデータ
コンサルティング		<ul style="list-style-type: none"> ご要望に応じてVALUENEXが調査・分析を実施。弊社コンサルタントが弊社のSaaSを活用し、お客様とともに課題解決を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象データはご相談の上決定 ・特許 ・論文 ・その他文献
VALUENEX Radar (SaaS)		<ul style="list-style-type: none"> あらゆる情報源から技術動向分析、新規事業創出、市場ニーズ把握など様々なビジネス戦略に活かせるデータ解析ツールです。 ・非特許文献（論文、アンケート、VOCなど） ・特許文献問わず、多種多様なテキストデータを解析 ・高速1,000件～最大10万件の文献を読み込み可能 	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる文献 ・特許 ・論文 ・ニュース、SNS ・新聞、雑誌 ・アンケートなど ・貴社内各種データ ・スタートアップデータ ・その他テキストデータ <p>※特許DBはオプション販売有</p>
VALUENEX Radar サポートサービス	伴走サービス	<ul style="list-style-type: none"> VALUENEX導入後の活用にご不安をお持ちの方、また初めて俯瞰解析に携わる方に、お困りの点について伴走をさせていただきます。 ・部門、ご自身の俯瞰解析スキルを向上させたいという方 ・一定レベルの俯瞰解析スキルを身につけたいという方 	
	コーチング	<ul style="list-style-type: none"> VALUENEX Radarご利用のお客様向けのアシストサービス お客様とともにトータルで俯瞰解析のコーチングを実施させていただきます。 ・より付加価値のある解析を行いたい、特定のテーマに関する解析を全面的にサポート ・解析観点や方法の設定、まとめ方等に不安がある方 ・DX人材、データサイエンティスト育成を検討されている方 	
カスタム開発 (協業による新規事業開発)		<ul style="list-style-type: none"> お客様が提供するサービスへ俯瞰解析機能を付加、または新しく解析ツールを開発する等、新規事業を共同開発します。 例) Stand Aloneサービス、API提供 	<ul style="list-style-type: none"> ご相談

事業モデル

当社独自の解析ツール(ASP)の提供、知的財産等幅広い分野の俯瞰解析から予測分析・戦略活用まで、コンサルティングサービスやレポート販売サービスを提供しております。



注：図中の実線矢印はサービス提供を意味し、破線矢印はお金の流れを意味します。

Appendix

会社概要

社名	VALUENEX株式会社		
事業内容	アルゴリズム事業	設立	2006年8月1日
所在地	東京都文京区小日向 四丁目5番16号		
資本金	81百万円（2025月1月31日現在）		
連結子会社	VALUENEX, Inc.（100%子会社） ※在米国		
従業員数	連結35名、単体29名（2025年1月31日時点） ※役員除く		
役員	<p>中村 達生 : 代表取締役社長 CEO / 博士（工学）</p> <p>鮫島 正明 : 専務取締役 CFO / MBA</p> <p>本多 克也 : 常務取締役 先進情報学研究所長 / 博士（工学）</p> <p>片桐 広貴 : 取締役 CTO / 工学修士</p> <p>瀧口 匡 : 取締役 経営企画担当 / 博士(国際経営)</p> <p>Choi Jiyoung : 取締役 海外事業担当</p> <p>鈴木 理晶 : 社外取締役 / 弁護士</p> <p>松田 均 : 社外常勤監査役 / 公認内部監査人</p> <p>宮内 宏 : 社外監査役 / 弁護士</p> <p>金子 良太 : 社外監査役 / 公認会計士・米国公認会計士（ワシントン州）</p>		

MISSION

VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です。

全ての人が情報を最大限に活用する未来へ。

現代社会は情報過多の時代です。しかし、その大量の情報を適切に処理・解析できる能力が個々人に求められる一方で、情報の偏りがないことを確認することも同時に重要となっています。しかし、現状ではこれらの能力に格差が生じ、情報の活用が限定的となっています。

VALUENEXは、世界中の誰もが大量かつ必要十分な情報を独自に解析し、得られた知見を起点として新しいアイデアやコンセプトを生み出すことができる世界を実現することで前述の課題を解消し、知の創造を促進します。

誰でも知を創造できる世界の実現に向けて、私たちは情報と知識の世界において持続可能な変革と発展のために努力し続け、「知」を求める全ての人に価値を提供します。

VISION .

我々は、世界に氾濫する大量の情報を
「信頼性」、「俯瞰性」、「客観性」、「正確性」、「最適性」
の5つの独自の視点で融合し、価値を創造する企業です。



我々は、世界に認知される企業を目指します。



我々は、自ら考え、自ら行動する企業を目指します。

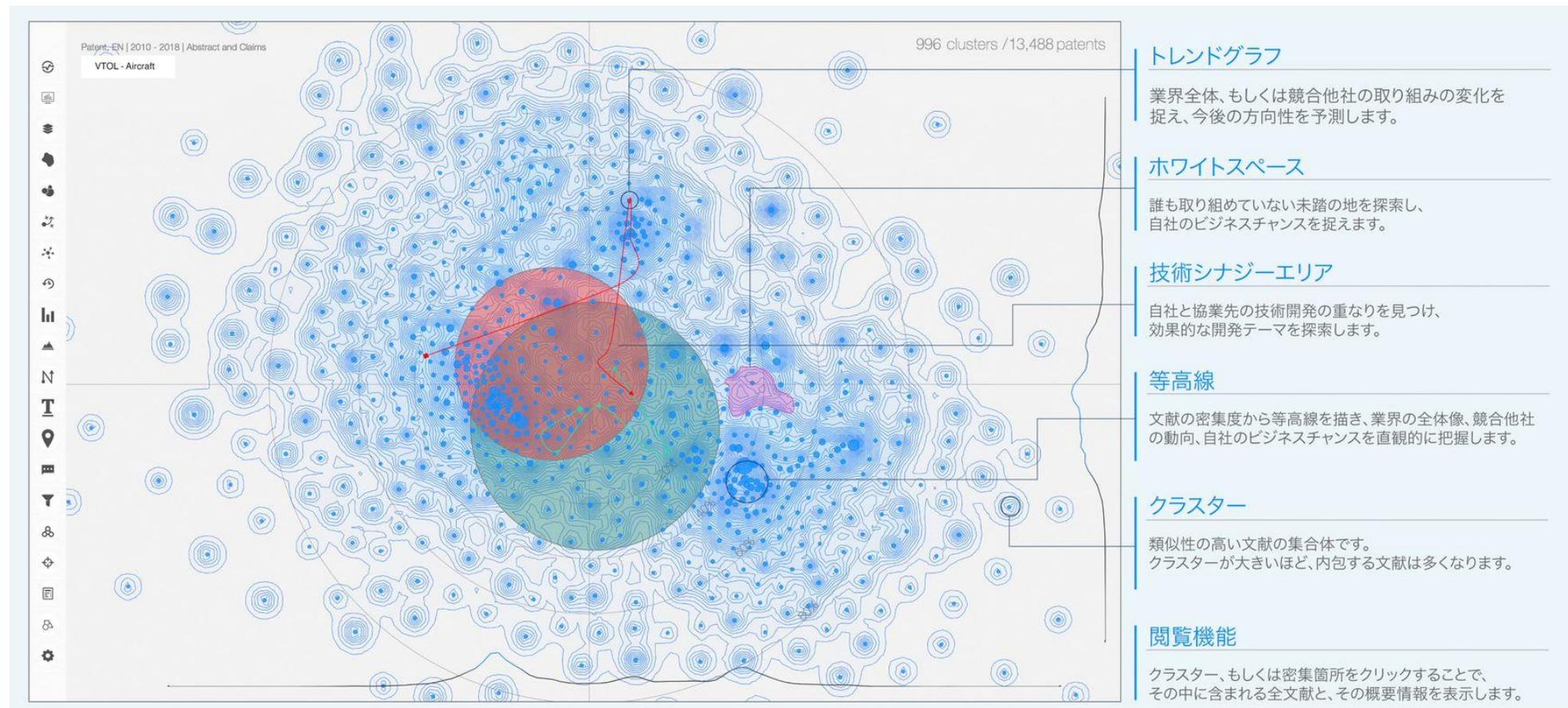


我々は、「知」を求める全ての人に価値を提供します。

当社ASPの検索・可視化イメージ

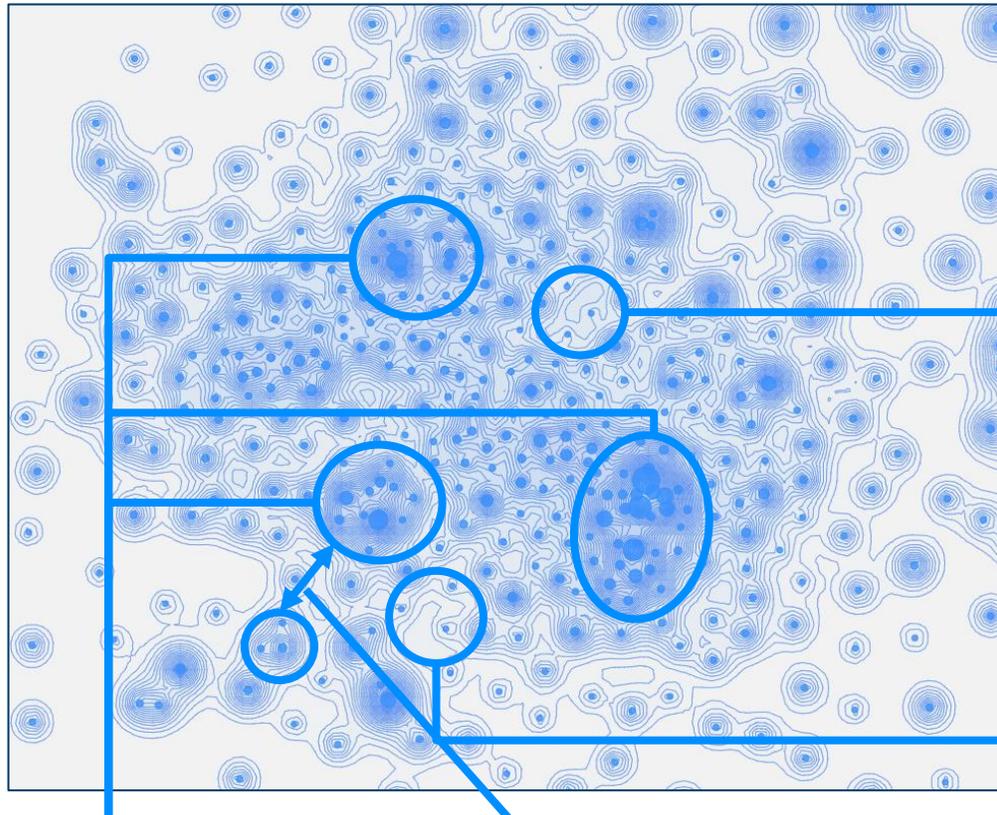
検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

当社ASPのイメージ図（俯瞰図）



俯瞰図の基本的な見方

テキストデータ同士の内容の関連性に基づく配置により、大量のテキストデータの全体像を把握しやすくします。



● 各プロットは似ている文書をひとまとめにしたクラスタ

● ● クラスタの大きさは、その中に含まれる文書の数に比例

● ● ● クラスタ間の距離はクラスタ間の類似度を表現（似ているほど近い）

□ ● ● XY軸は予め定義されていない。クラスタ同士の類似性を最適に表現できるように配置を決定

クラスタが密集

= データセット中に多く含まれている技術や市場ニーズなどの情報

クラスタ間の距離が近い ホワイトスペース

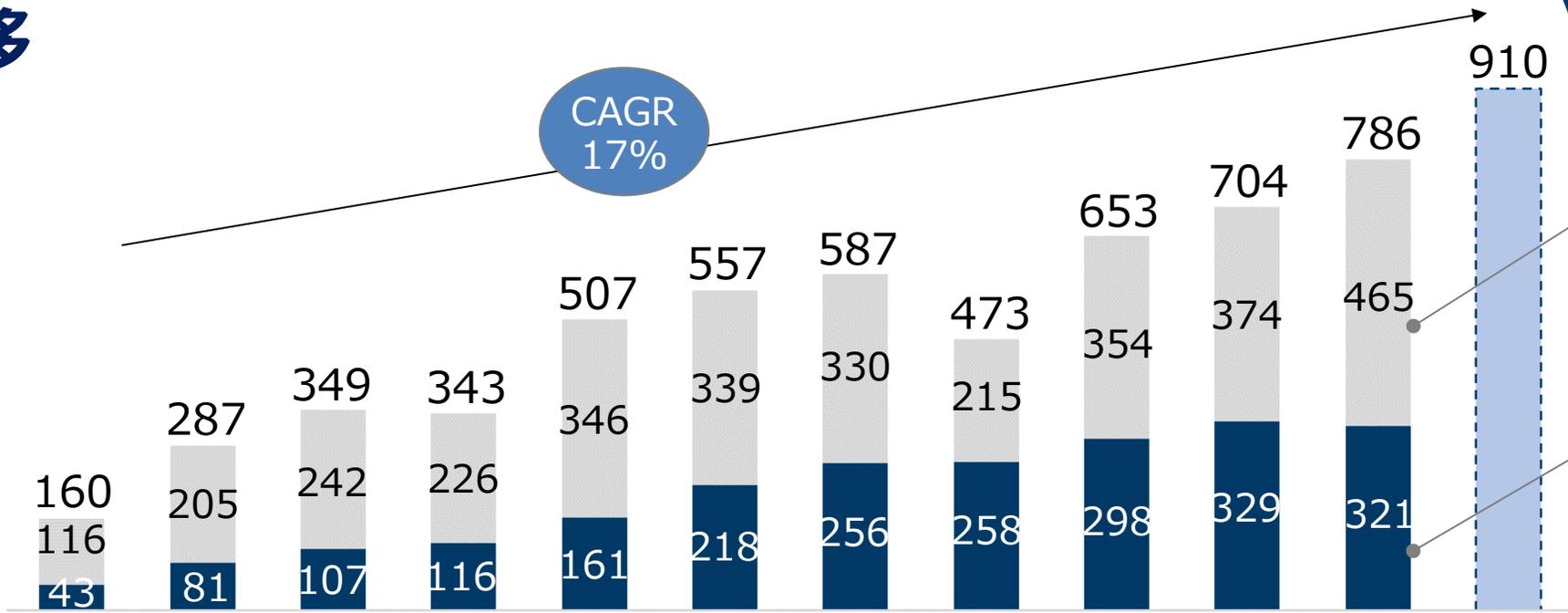
= 内容の関連性が高い

業績推移

単位：百万円

CAGR
17%

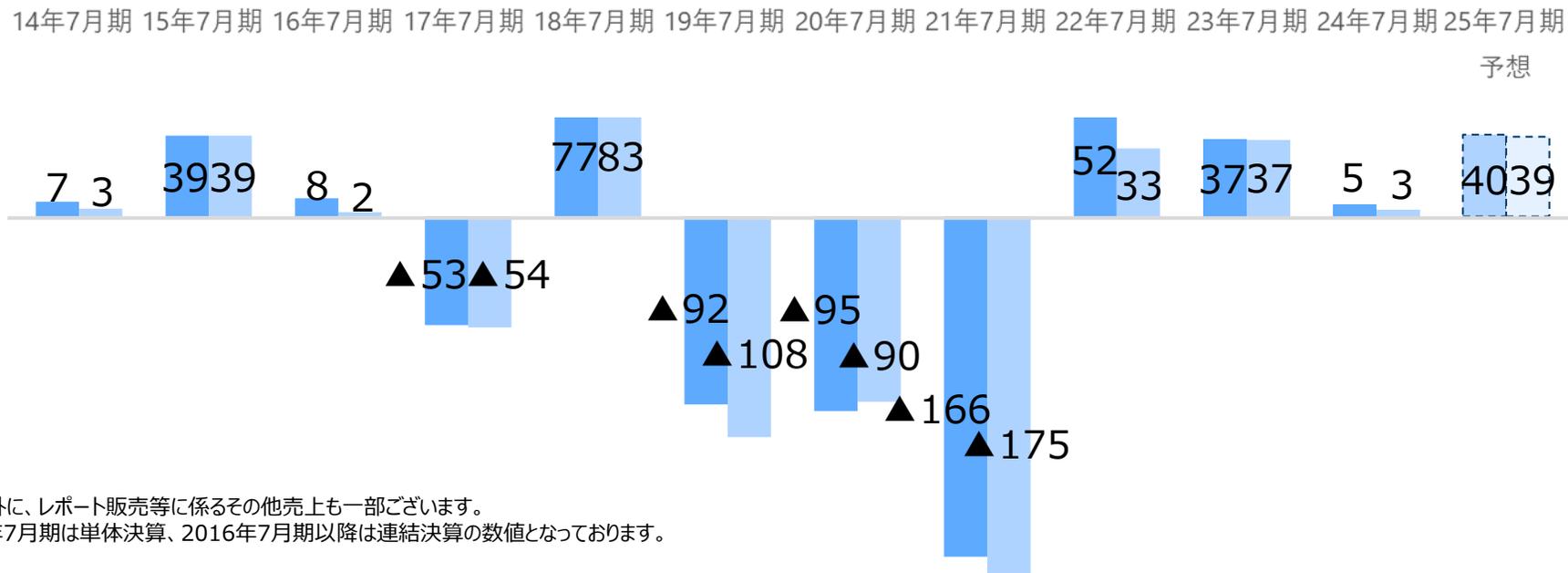
売上高注



コンサル
テイング+
その他売上

ASP

経常利益
当期純利益



経常利益
当期純利益

注：ASPとコンサルティング以外に、レポート販売等に係るその他売上も一部ございます。
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

VALUENEX

FOR MORE INFORMATION:

www.valuenex.com
customer@valuenex.com